

令和5年度 粟ノ保小学校だより

令和5年9月19日 NO. 13



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 心の笑顔のために】

◇6年生イングリッシュキャンプ◇9/14(木),9/15(金)

羽咋市は英語教育（外国語活動）を推進しております。一つは、小学校卒業までに、英語検定の5級合格をめざすこと。授業はもちろんのこと、本校では、週1回英語学習の「Eタイム」を設けています。小学生は特に聞く（リスニング）力を身につけなければなりません。そのために普段から慣れていかなければなりませんね。このイングリッシュキャンプもその一つです。できるだけ英語でコミュニケーションを取りながら過ごす。悪戦苦闘しながら英語を使わざるを得ない状況にさせるため、意図的に計画している特徴ある行事なんです。ALTクミコも参加しました。

さらに、粟ノ保小、瑞穂小、西北台小の3校合同で実施することも新鮮さがあります。粟ノ保っ子も少々不安な面もあったことと思います。しかし6年生は、来年羽咋中学校で皆さん同級生になります。交流することで今後につながりましたね。

今週、9/21-22は5年生が参加します。こちらも3校合同交流が楽しみです。



◇運動会練習が始まります◇9/19(火)～



運動会練習が今日から始まりました。残暑による熱中症の心配もまだまだあります。

粟ノ保っ子の体の調子が崩れることの無いよう十分に気をつけて指導していきます。そのために、しっかりと食事をして睡眠も取れますように、ご家庭でもご配慮をお願いします。

今年は、来賓の数を増やしました。保護者、地域の方々にも元気な姿をお見せしたいと思います。午後からは、社会体育大会もあります。力の限りがんばりましょう。

裏面あります

◇校長の雑感：自主的・主体的な子◇

粟ノ保小の教育目標は、次の通りです。

「主体的・対話的に学び 心豊かに 未来を切り拓く 児童の育成」

さて、今の子ども達に求められているのは、簡潔に言うと、『自分で課題を見つけ、自分から学び、自分から考え、自分で主体的に判断し、行動すること』です。むしろ、むしろのことですが。

ところで、「主体的」という言葉をよく耳にしますが、主体的ってどんなことかな。また、似たような言葉に「自主的」という言葉もあります。

私たちは今までに「自主的にやりなさい」とか「主体的に行動しなさい」と言ったり、言われたりしてきました。でも「自主的」「主体的」の2つの言葉は、似たような言葉ですが、その違いとは何でしょうか？それぞれの言葉の意味を知っていなければ、「自分に足りないスキルは何なのか」ということが曖昧になりますよね。



「自主的」とは、明確に定まっている「やるべきこと」を『人に言われる前に率先して自らやる（行動する）こと』なんです。

一方、「主体的」とは、『何をやるかは決まっていなくても自分で考えて、判断し、行動する』ということなんです。

自主的と主体的の決定的な違いは、**「やるべきことを決めるのが自分自身なのか、他の人なのか」という部分**なのです。

誰かの敷いたレールに乗り、与えられたものを他の誰にも言われなくてもするのが、「自主的」。今までなかったことを自ら考えてするのが、「主体的」。つまり、主体的のある人は、自ら考えて行動する人、出来る人です。

例えば、教室の掃除をします。教室は、先生が「いつもきれいにしましょう」と言います。

「先生に注意される前に掃除をしよう」と考え行動するのは「自主的」な行動です。

一方、「教室をきれいにしておけば、みんなが気持ちよく過ごせるし勉強もできる」。だから掃除をしておこうと考えるのは「主体的」な行動になります。

違いは明らかですね。掃除をしようと決めたのは、先生ですか自分ですか。その差です。自分で考えて、行動するのが「主体的」なんです。

私たち大人もこれからの子ども達にとっても、「やるべきこと」「やらなければいけないこと」を他の人から言われてもしないは問題ですが、まずは、「言われてからする」→「言われる前にする」といった自主的な行動レベルを上げていきたいですね。



そして、「自分で考えて動く」主体的な行動レベルができる子をめざしたいですね。

保護者の皆さんは、お子さんを見ていて、「いつまでたってもやらないので」、つい注意してしまい、よくない空気感を何度か味わったことは無いですか。

最後に、自主的な行動が取れる子だけが、主体的な行動ができるのです。ここがポイントです。

冒頭の学校目標「主体的・対話的に学び」の意味が少し分かってきましたね。

自ら調べたり、聞いたり、難しい課題に挑戦したりして動ける子なんです。

がんばろう！粟ノ保っ子たち！！

